

# 議員が質した 188のこと

令和7年度  
一般会計予算  
を可決

111億  
6000万円  
(前年度比12.6%増)

今次定例会（2月28日～3月21日）では、令和7年度の各会計予算をはじめ、新教育長の任命に係る人事案件など全28議案を審議し、全て原案のとおり議決しました。ここからは、住民の皆さんに身近な「一般会計予算」の審議内容を中心に紹介します。



3月定例会の会議録は、6月上旬から見られます。

Pick up!

橋りょうの補修

3橋

移住支援金

60~100万円

知っておきたい！この数字

## 一般会計予算 公共施設の利活用を推進 「パトリアおがわ」複合施設に再整備へ

**Q** 基本構想や計画の策定に向けた取組は。

**A** 公共施設等総合管理計画に基づいて、現在の事務所や貸館などの機能を維持するとともに、老朽化する他の町有施設を集約・複合化するため、必要な改修を行っていく予定です。建築設備（ハード）と機能集約（ソフト）の両方に知見を持つ事業者に委託する中で、複数の再整備案を比較検討し、基本構想・計画の策定を図っていきます。

### 農業祭と地産地消の推進

**Q** 毎年盛況の農業祭開催に係る補助金の増額に至った背景等は。

**A** 町内で生産された農産物の品評会や展示即売等を通じて、生産技術の向上と、農業に対する理解・関心を深めることから「地産地消の推進」を図っています。今後、リリックホール棟の解体工事の影響が予想される中、会場変更となった際に生じる設備や案内表示などの変更、表彰や謝礼品の値上げ等に要する費用を見込んでいます。

### 地域強化計画の改定

**Q** 主な改定点等は。

**A** 同計画は、大規模自然災害等に備え、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する取組を総合的かつ計画的に実施することで、強靱な国（地域）づくりの推進を目指しています。現計画の期間満了に伴い、国や県等における最新の動向を参考にすることで、当町の地域特性に見合った見直し・改定を図っていきます。

### 公園・遊具の改修

**Q** 新たな健康遊具等の設置は。

**A** 既存のブランコやフェンスの改築、老朽化した複合遊具の撤去などを行っていきます。新たな遊具の設置は予定していませんが、



貯筋

散歩の途中で、健康器具でぶらさがりをしたり、腰をひねったりすることで筋力が保たれます。「貯筋」しています！  
遠藤真知子さん（東小川5丁目）

今後も公園を維持管理している地元地区・地域の皆さんの意見を反映する中で、少子高齢化や人口減少を総合的に判断し、整備していきます。

### （仮称）西小学校の営繕

**Q** 西中学校を小学校として使用するために要する工事の内容等は。

**A** 教室内の壁面に、体操着や給食着をかけるためのフックを取り付けます。また、現在は特別教室

棟までの渡り廊下が野ざらしになっていますので、屋根の設置を予定しています。併せて、体育館にあるバスケットボールのゴールの高さを小学校仕様に合わせて下げる作業等を見込んでいます。

### 学習・研究活動に寄与

**Q** 「文化財デジタルアーカイブ事業」の進捗と効果等は。

**A** これまでに「平松台遺跡」「穴八幡古墳」「下里・青山板碑製作遺跡（割谷）」に係る資料のデジタル化を図り、町ホームページに掲載しています。従前の紙媒体での資料取得と比べて、来庁等の負担が軽減されるとともに、デジタル化された写真等の資料は広範囲にアクセスが可能となり、様々な学習・研究活動に寄与するものと捉えています。

### 老朽化する庁舎の改修

**Q** 改修の詳細は。

**A** 庁舎地下にある電気室内の「高圧受変電設備及び非常灯用蓄電池設備」を更新するものです。同設備は、既に耐用年数を大幅に超過し、老朽化による電気火災や近隣への波及事故、さらには行政機能の停止を引き起こすおそれがありましたので、対策を図ります。

### 起業の機運醸成と創業支援

**Q** 取組の目的等は。

**A** 町内における起業や創業への支援を行う中で、道の駅リニューアルオープンを契機とした波及効果を、町全体に広げるための組立てを考えています。若い時期から起業に対する興味を持ってもらうことを目的に、小川高校との連携で起業体験を行います。また、町内事業者への支援として、道の駅へのキッチンカーなどの出店補助や、道の駅から町内の商店等への誘導を促す「デジタルスタンプラリー」を実施していきます。

### 移住支援の補助金を支給

**Q** 新たに創設された補助金制度だが、支給要件等は。

**A** 東京都23区内に在住在勤（移住前10年間で通算5年以上かつ直近1年以上）の方が地方へ移住し「当町の中小企業・農林企業などに就業」等を行った場合に、補助する制度となっています。単身での移住は60万円で、世帯での移住は100万円を支給します。

卒業生・在校生を送り出し、役割を終えた西中学校。  
令和9年度には仮称「西小学校」として、子どもたちの元気な声  
が戻ってくる。



小川町議会だよりは

町民登壇に「タワル」！

広い年代の皆さんに、たくさん登壇していただきます（裏表紙も）ご覧ください。

つづく！